



# 令和7年度 福島県立会津支援学校 学校経営・運営ビジョン



## 学校教育目標

学びを積み上げ、豊かな心と健やかな体を養い、地域とつながり自立と社会参加をめざし、たくましく生きる人間の育成を図る。

- 自ら学び考え行動する力 (学び)
- みんなで協力し思いやる心 (協働)
- 元気で明るい心と体 (健康)

## < 経営方針 >

- 1 授業を中心とした学校づくりにより、主体的・対話的深い学びを実現し、ICT機器を効果的に活用した情報活用能力の育成を図る等、学びの充実に努めます。
- 2 健康や安全に配慮した教育環境の整備に努め、事故やいじめを未然に防ぐとともに、児童生徒が安全・安心に学校生活を送れるように努めます。
- 3 第7次福島県総合教育計画に基づき、知的障がい教育の専門性の向上に努め、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びによる学びの変革によって資質・能力の確実な育成に努めます。
- 4 医療や福祉等の関係機関と本校地域支援センター「地域支援センターあいづ」が連携し、会津地域におけるセンター的機能の充実に努めます。
- 5 地域を学びのフィールドとした取組を積極的に行い、児童生徒が地域での役割を担うことで、社会性や豊かな人間性の育成に努めます。
- 6 家庭や地域、関係機関等との連携を図りながら、自立と社会参加に向けたキャリア教育を充実させ、児童生徒が夢や希望を抱き進路実現、自己実現できるように努めます。
- 7 教職員の主体性を尊重し、職員間のセーフティネット機能を向上することで、風通しの良い職場づくり、ウェルビーイングの実現に努めます。
- 8 地域や関係機関等と連携を図りながら、令和8年度に開校する「みなみあいづ支援学校」の開校準備に努めます。

校長 猪俣 康彦

## 地域とつながり、自分らしく生きる児童生徒の育成をめざして

### I 学びの変革と充実

- 1 学びの変革を実現するため、児童生徒がICT機器を効果的に活用できるよう、「個別最適化された学び」や「協働的な学び」、「探究的な学び」の充実に図ります。
- 2 一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、年間指導計画や個別の指導計画に基づいて授業実践・評価を行い、それらの計画を見直しながら学びを積み重ねていきます。
- 3 キャリアパスポートの作成・活用により、児童生徒個々のニーズに応じ、自立と社会参加を目指す系統的なキャリア教育を推進します。

### II 健康と安全・安心

- 1 緊急時の対応について全職員で共有し、医師・看護師・保護者等と連携して事故を防ぐとともに、健康教育の充実に努めます。
- 2 危機管理マニュアルを見直し、全職員が共通理解をし、危険や災害から児童生徒が主体的に身を守るための安全教育・防災教育の充実に図ります。
- 3 発達支持的生徒指導によって人権尊重の意識を高めるとともに、いじめ・虐待等の早期発見・早期対応に努めます。また、系統的な「性に関する指導」に取り組みます。

### III 教師の「専門性の向上」

- 1 学び続ける教師として、職務や研修を通して、指標\*のステージ(経験年数)に基づく資質能力の向上に努めます。  
\*校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第2版(改訂版)】
- 2 教員一人一人が課題を明確にし、それに伴う研修に取り組み、その成果を教育活動に還元します。
- 3 連続性のある多様な学びの場を実現するため、地域の特別支援教育の振興に貢献します。

### IV 地域との「連携・協働」

- 1 地域のセンター的機能の役割を果たし、誰一人取り残さない教育体制を構築するため、特別支援教育に関する相談支援・研修支援に努めます。
- 2 地域の小・中学校、高等学校との交流及び共同学習を推進し、障がいのある児童生徒の理解推進に努めます。
- 3 福島県立博物館や関係機関・企業等の地域資源を活用し、地域の一員として社会貢献を目指す教育を推進します。

## Well-being の実現

(ウエル・ビーイング) = 子どもたち一人一人の多様な幸せと学校や社会全体の幸せ)

- 高い倫理観と使命感をもち、不祥事を防止します。
- 対話と協働を重んじ、個性を伸ばし多様性を尊重します。
- 働き方改革を推進し、持続可能な教育環境を作ります。
- 地域の一員としての活動を推進し、共生社会の形成をめざします。

※「開かれた学校」をめざし、積極的に情報発信しています

